



## 親知らずは抜かなきゃいけないの？

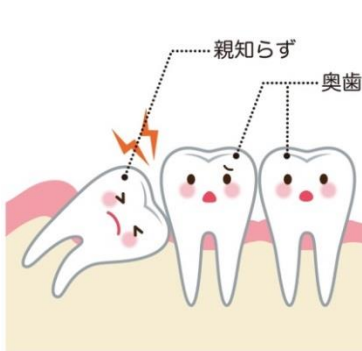
No.80

親知らずで頬が腫れた、口が開かない、親知らずの抜歯で大変だったと、親知らずについてあまり良い話は聞きません。親知らずは生えて来たら必ず抜かないといけないのでしょうか？

親知らずは前歯の真ん中から数えて8番目の歯で、正式には第三大臼歯といいます。生えてくるのは早い人で高校生、普通はだいたい二十歳前後です。

この歯は退化傾向にあり、およそ30%の人には無いと言われていますが、上下左右4本全部無い人もいれば1本だけある人、4本全部ある人と様々です。

原始的な時代には親知らずまで全部生え揃っていたのですが、現代人の顎の大きさでは親知らずが生えるスペースが無くなっています。このことが、親知らずがあっても埋もれたままになっている、一部分だけ出ている、変な方向に生えているなどの問題の原因となっています。



では実際にどのような症状があるのでしょうか？まず、腫れて痛い。これは親知らずが腫れるのではなく、親知らずの周囲の歯ぐきが腫れているのです。親知らずの一部分だけが頭を出して

いて、周囲の歯ぐきとの間に袋状の深い溝を形成し、そこにばい菌が入り、周囲の歯ぐきが炎症を起こして膿を持ち、腫れるのです。ひどい場合は口が開かなくなることもあります。これを智歯周囲炎と言います。親知らずの生える場所はお口の中の奥の方で、もともと清掃し難く

て、歯垢が溜まりやすく、不衛生になりがちです。体調が悪かったり、抵抗力が下がった時に炎症を起こしやすくなります。

親知らずの周囲の歯磨きが難しかったり、何度も腫れるようだったら抜いた方が良いと言えるでしょう。

妊娠中は体調の変化や、つわりで歯磨きが上手くできなくて智歯周囲炎を起こしやすくなります。腫れた経験のある方、妊娠中の抗生剤侵襲、抜歯によるダメージを避けたい方は予防的な意味で妊娠前に親知らずを抜いておくのも一考です。



親知らずが横に生えていて、一つ前の歯(第二大臼歯)のむし歯の原因になっている時は第二大臼歯の治療のために抜くことがあります。また、完全に埋もれていても押して歯並びに悪い影響を及ぼす

場合は抜いた方が良いでしょう。

これまで抜くことばかり書いてきましたが、正常に生えていて咬み合っている場合や、一部分しか出ていなくても清掃がきちんとできていれば抜く必要はありません。不幸にして、大臼歯を喪失した場合に、条件が揃えば親知らずを移植することもできるので大事にしましょう。

いずれにしても親知らずがあるのか無いのか、どのような状態なのかはレントゲンを撮ってみないと分からないので、親知らずのことで心配な方は歯医者さんに相談してみてください。



一般社団法人

## 柏歯科医師会

<http://kashiwa.cda.or.jp/>

Email : [kda@kamukamu.or.jp](mailto:kda@kamukamu.or.jp)

